

Title	ヘリウム液化機更新のスケジュールについて
Author(s)	低温センター豊中分室
Citation	大阪大学低温センターだより. 80 P.19-P.20
Issue Date	1992-10
Text Version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/11094/6742">http://hdl.handle.net/11094/6742</a>
DOI	
rights	
Note	

***Osaka University Knowledge Archive : OUKA***

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

お知らせ

## ヘリウム液化機更新のスケジュールについて

低温センター豊中分室

ご承知の方も多いかと思いますが、豊中地区での液体ヘリウムの需要の急増による深刻な供給量の不足と、設置後19年、運転時間3万時間という液化機の老朽化に対処するため、平成4年度特別設備費として「大型ヘリウム液化装置」の更新予算が認められました。政府調達による入札の結果、納入業者として大阪酸素工業㈱が決定し、本体PSI社製Model 2210を中心とした周辺機器1式が平成5年3月25日納期で搬入されることとなりました。

新型機本体は、膨張ピストンを4本持ち、時間当たりの液化量は100ℓ/時以上と現在の機種種の3倍以上の液化能力となった新鋭機です。本体の大型化にともない、液化用の圧縮機や液体ヘリウムの貯槽等も、既存の装置が使えなくなり更新します。電源や冷却水の設備なども増強する必要があります。又、建屋の増築を含めた予算要求は実現が困難との見通しがあったために、これら装置は、これまでの液化室へ納めることとなります。

このため、液化機搬入に先立って、既存液化機等の撤去搬出、残存させる機器については移設、建屋の改修（現在の建物では天井高が低いために、約2m上げる必要がある）などの作業を行う必要があります。従いまして、これらの工事期間中は、ヘリウムの液化・供給、蒸発ガスの回収は行えません。工事期間のスケジュールは、以下のように予定します。

最終液化・供給	平成4年10月20日
大阪府保安検査	10月21日
ガス回収停止	10月27日午前10時
既設機器撤去	10月26日～10月30日
建屋改修工事	11月2日～平成5年1月31日
配管等移設工事	平成5年2月1日～2月14日
第1次機器搬入	2月15日
第2次機器搬入	3月11日
機器間の接続、調整等	2月16日～3月24日
大阪府完成検査	未定
機器引き渡し	3月25日

供給再開時期やその他大幅な予定の変更が生じた場合には、逐次、学内便による連絡あるいは液化室に掲示により通知いたします。

液化停止後のヘリウム利用は、液体ヘリウムを業者より購入していただき、ヘリウムガスの回収もで

きませんので、大気放出の形で使用していただくことになります。工事期間中いろいろとご不自由をおかけすることと思いますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

液体窒素の利用は平常通りです。なお、冬場にかけて、窓の閉まった部屋内でのヘリウムガスの大量蒸発による酸欠事故も考えられますので、これについてもご留意下さいますようお願いいたします。

## 人事異動

豊中分室 助手

辞職 吉田 立 (9月30日付、中日本自動車短大へ転出)

採用 竹内 徹也 (10月16日付)

低温センターだより編集委員も交代。